



令和6年度が終わりました

3月25日をもって、令和6年度が修了しました。1年間というのはあっという間だと感じます。14日に行われた卒業式では、3年生が立派に卒業していきました。よい伝統を作った3年生には感謝でいっぱいです。そして、すぐに令和7年度が始まります。これから始まる春休みが令和7年度のためのよい準備期間となればと思います。



キンボールを体験しました

21日（金）に美作大学の大学生が講師となり、キンボールを楽しみました。キンボールはニュースポーツで、グループで協力することが必要です。1年生はあと2年間、2年生はあと1年間協力して中学校生活を送ります。キンボールは1人では



できません。ボールをヒットするときは、チームにボールを支えてもらいます。1人でボールをとることができない時はチームの仲間が駆け寄ってきます。残された中学校生活もキンボールのように「助け、助けられ」があたりまえにあり、充実した日々となるよう、4月からの生活を「協力」して過ごしていきたいです。ボールをキャッチしたときの周囲の拍手。温かい拍手でした。



今日、無事に修了式を迎えることができました。今年度東児中学校に赴任し、この1年間で東児中学校の良さを多く感じました。「全校一丸となって」という言葉を体現したような体育会。音楽発表会での各学年の合唱、そして全校合唱。卒業式では全校合唱で歌った『正解』を卒業歌として歌いました。卒業式前日での合唱は10月の音楽発表会以来の全校での合唱でしたが、成長ぶりに感激しました。そして卒業式での合唱。卒業式は1年間で一番大切な行事です。心を込め、堂々と歌う姿に感動しない人はいないでしょう。それが東児中学校の良さだと感じます。その土台を作っているのは、地域や保護者の方の温かさです。大人に向かう途中である中学生。中学校生活は何事もなくということは難しい時期です。この時期にレジリエンス「乗り越える力」をつけることで、社会人となっても困難に立ち向かうことができます。その力をつけるための支えとなっているのが保護者の方を含め、地域の方です。「してもらおう」から「誰かのために行動する」力を見守っていただいている中学生の時期につけていくことが重要だと考えます。我が子だけでなく、「地域の子は地域みんなで」ができる東児の良さを生かし、来年度も取り組みたいと思います。様々な場面でご理解、ご協力いただきありがとうございました。

